

▼夜叉公子 (前篇)

帝キキ芦屋時代映畫

原作兼脚色者 上島 量氏
監督者 山下 秀一氏
撮影者 三木 稔氏

主要役割

大河流實は六條金吾清氏 明石 綠 耶氏
その父實は家來大河仙兵衛 林 誠太郎氏
今吾の父六條大納言 青木 芳美氏
東寺中納言 片岡 童子耶氏
息女千鳥姫 久野 あかね嬢
東寺用人佐久間 牛太夫 中村 旣曉氏
同 鶯塚 佐次馬 風 寛十郎氏
藝妓 染松 松枝 鶴子嬢
解説 「大石瀨左衛門」について山下秀一氏
が監督製作した時代劇である。
略筋——六條金吾清氏は十年前父六條大納言の
東寺中納言に暗殺された恨みを晴らさんと夜叉
公子となつて中納言を狙つてゐた。祇園の名花
染松は大河流に遠瀬ない思ひを寄せてゐた。東
寺中納言をはじめ其用人鶯塚(變幻出沒極りな
き夜叉公子に苦しめられて遂に大河流を護衛の
爲め召抱へた。大河流とは果して何者か或夜中
納言の胸を襲つた夜叉公子、其處には激しい亂
闘は風の如く起つた白台の如く可憐な千鳥姫
の驚き夜叉公子の運命は如何に。